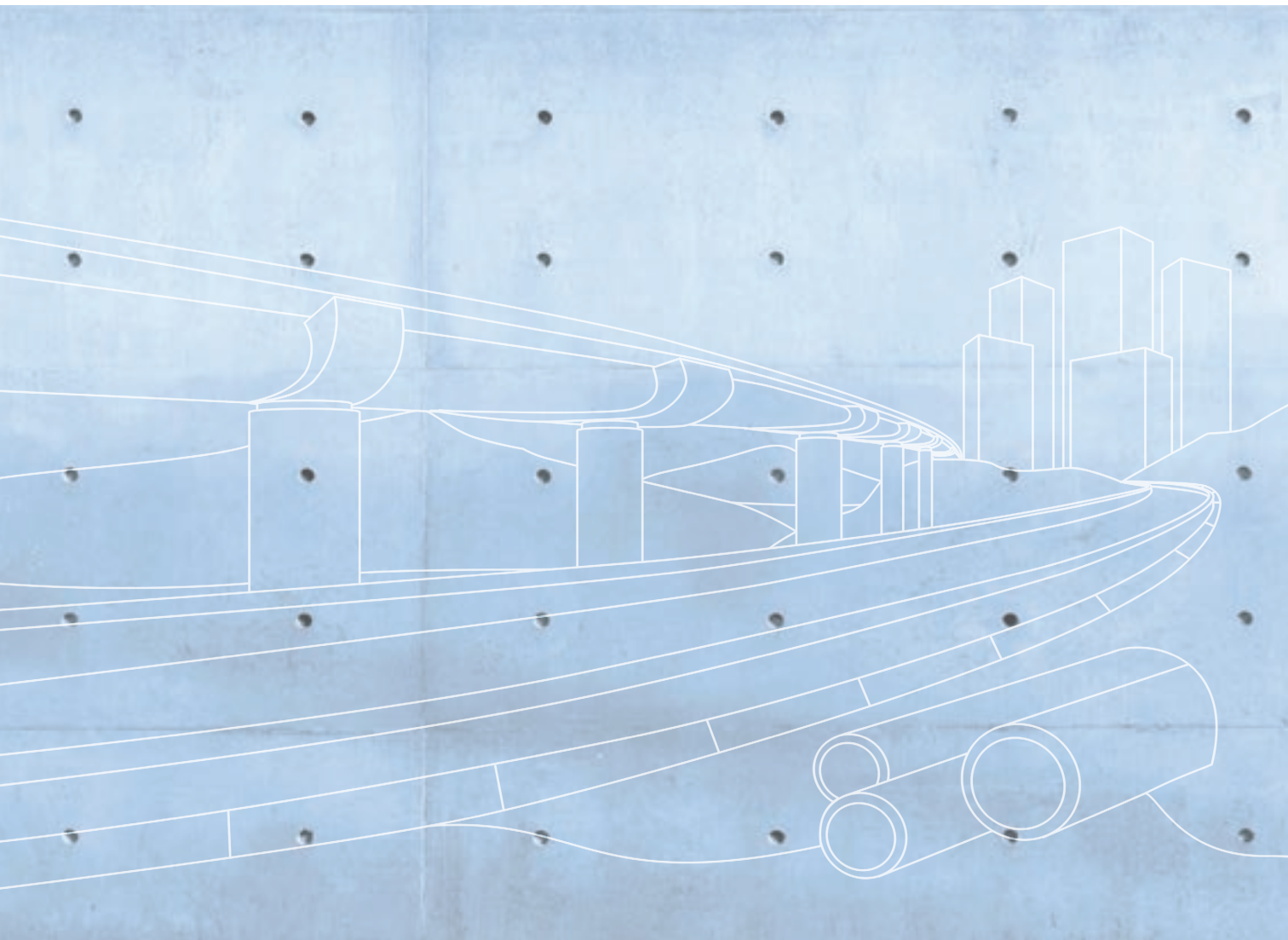


証券コード：5269

第93期 中間報告書

2023年4月1日 ▶ 2023年9月30日



日本コンクリート工業株式会社

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素より日本コンクリート工業グループをご支援いただきまことにありがとうございます。

2023年5月5日に発生しましたランサムウェア感染被害につきまして、事業活動の維持と復旧に努めることで生産・販売等への直接的な影響は軽微でありました。一方で、第1四半期に続く決算発表の遅延につきましては、株主・投資家のみなさまに多大なご心配とご迷惑をおかけしておりますこと、深くお詫び申し上げます。

当第2四半期連結累計期間の経済環境は、経済活動の正常化が進み、景気は緩やかな持ち直しの動きがみられたものの、不安定な国際情勢や円安等の影響に伴う資源価格や物流費の上昇により、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く事業環境におきましては、災害からの早期復旧を可能とする当社グループの製品・施工・供給体制に注目が集まるほか、防災・減災、社会インフラの維持、工期短縮・省人省力化等に資す

るプレキャストコンクリート製品や施工技術、当社開発のCO₂固定化・利活用技術（CCUS）、グリーン製品（低炭素型コンクリート）へも引き続き高い期待が持たれています。

このような状況の中、当社グループは、前期に損失を計上し無配としたことから、早期の業績回復および復配を実現すべく経営改善計画を策定（2023年5月19日発表）しました。本計画に掲げる売上の拡大やコストダウン、適正価格の浸透等の各種施策は着実に前に進んでおり、一定の成果をあげております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は264億33百万円（前年同四半期比7.4%増）、営業利益は12億73百万円（前年同四半期比3,034.6%増）、経常利益は15億29百万円（前年同四半期比320.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億8百万円（前年同四半期比1,532.9%増）となりました。

中間配当につきましては、ランサムウェア感染による月次決算への影響が残っているものの事業には直接的な影響がないこと、また、2024年3月期第1四半期

表紙の写真

統合報告書表紙

非財務情報開示の充実による当社グループのサステナビリティ等への取り組みへの理解促進を目的として、2023年7月に初めて発表した統合報告書の表紙です。この表紙は、当社の事業内容をイメージして作成しております。

目次

株主のみなさまへ	P 1	トピックス	P 7
第2四半期連結決算ハイライト	P 3	グループ	P 8
セグメント別の概況	P 4	会社情報／株主情報	P 9
連結財務諸表	P 5		

決算の内容および今後の事業環境の見通しを踏まえて、2023年5月19日に公表しましたとおり1株につき6円50銭といたしました。なお、期末配当につきましても中間配当と同額の1株につき6円50銭、あわせて年間13円を予定しております。

また、足元の事業環境を鑑み、2024年1月11日に通期業績予想の修正に関するお知らせを公表しました。

引き続き不安定な国際情勢や物価上昇、建設業界の深刻な人手不足、物流2024年問題などのリスクは依然としてあり、当社グループにとって引き続き厳しい経営環境が継続するものと予想されます。

かかる状況下、経営改善計画に掲げる施策を確実に進め更なる業績回復を実現すべく尽力すると同時に、2024年に策定・公表を予定しております新たな中期経営計画において、今後の成長戦略や当社の資本コスト等に関する考え方をお示しするための検討にも取り組んでまいり所存であります。

今後も社会インフラ強靱化の一翼を担い、環境負荷を低減させる技術と商品群を提供することで社会に貢献し、当社グループのシナジーを発揮し更なる成長を実現し、企業価値の向上を目指してまいりますので、株主のみなさま方におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長
塚本 博

第2四半期連結決算ハイライト

■ 当第2四半期の概況

売上高

プレキャスト製品の出荷および施工が想定以上に順調に進み、加えて適正価格の浸透が進んだことから、前年同期比増収となりました。

営業利益

工場稼働率は想定より低いものの適正価格の浸透が進み、加えて工事の採算が改善したことから、前年同期比増益となりました。

経常利益

持分法による投資利益の増加も寄与し、前年同期比増益となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益

投資有価証券売却益が約1億円加わり、前年同期比で改善いたしました。

(単位：百万円)

	当第2四半期	前第2四半期	増減額 (%)
売上高	26,433	24,608	1,825 (7.4%)
営業利益	1,273	40	1,232 (3,034.6%)
経常利益	1,529	363	1,166 (320.4%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	808	49	759 (1,532.9%)

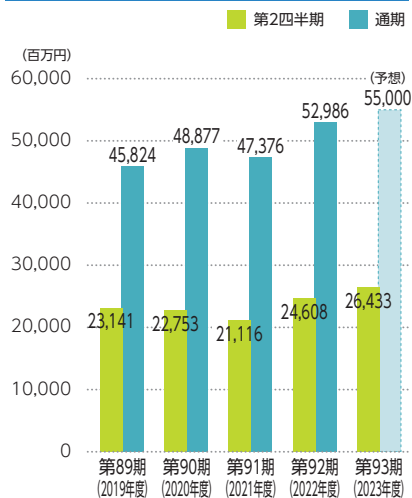
■ 通期の見通し

通期の連結業績の見通しにつきましては、次のとおりです。

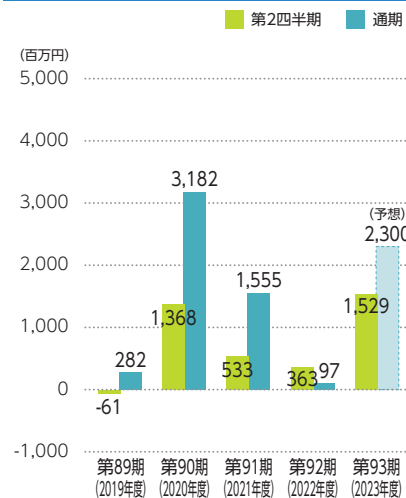
(単位：百万円)

売上高	55,000	(前期比 3.8%)
営業利益	1,900	(前期比 —%)
経常利益	2,300	(前期比 2,270.4%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,200	(前期比 —%)

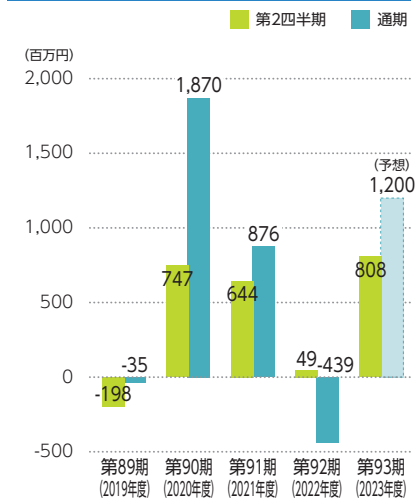
■ 売上高



■ 経常利益又は経常損失

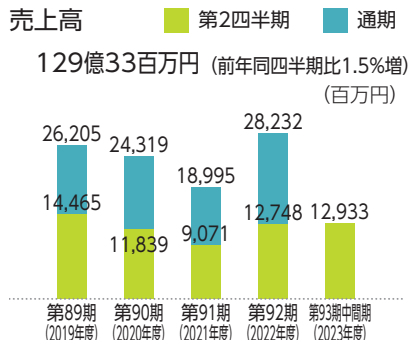


■ 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益又は純損失



セグメント別の概況

基礎事業



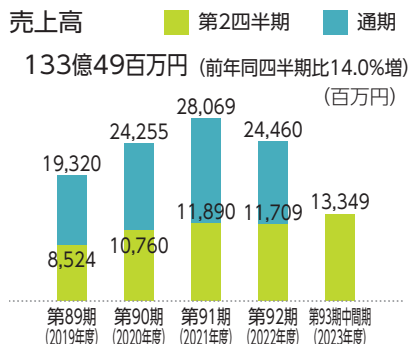
コンクリートパイル全国需要が前年同四半期比で減少するなか、当社グループにおいても出荷量は想定を下回ったものの、適正価格の浸透に努めた結果、売上高は129億33百万円（前年同四半期比1.5%増）となりました。

利益につきましては、工場稼働率は想定より低いものの工事採算の改善にも取り組んだことから、5億50百万円（前年同四半期比174.9%増）となりました。



防災・減災、災害復旧に対応する
土木製品事業

コンクリート二次製品事業



引先への販売価格見直し交渉等の結果もあり、売上高は76億28百万円（前年同四半期比18.1%増）となりました。

土木製品事業につきましては、リニア中央新幹線向け等RCセグメントの生産が堅調に推移したことに加えて、PC壁体・親杭パネル壁のプレキャスト製品の出荷および施工が想定よりも順調に進み、売上高は57億20百万円（前年同四半期比8.9%増）となりました。

これらの結果、コンクリート二次製品事業の売上高は133億49百万円（前年同四半期比14.0%増）となりました。

利益につきましては、基礎事業と同じく適正価格の浸透が奏功し、13億60百万円（前年同四半期比158.7%増）となりました。

ポール関連事業につきましては、コンクリートポールの全国出荷量が前年同四半期比で概ね横這いである環境下、当社グループの出荷量は若干増加し、大口取

昨今、気候変動の影響等により自然災害が激甚化・頻発化する中、国の政策として防災・減災対策が推進・強化されており、災害防止や災害後の早期復旧に対応するインフラ整備の需要が高まっております。当社グループの製品や施工を通して、これら需要に応えるべく引き続き取り組んでまいります。事業の詳細については、当社ホームページをご覧ください。



不動産・太陽光発電事業

安定的な賃貸料収入の計上、発電・売電を行っており、売上高は1億50百万円（前年同四半期比0.3%増）、セグメント利益は95百万円（前年同四半期比1.4%増）となりました。

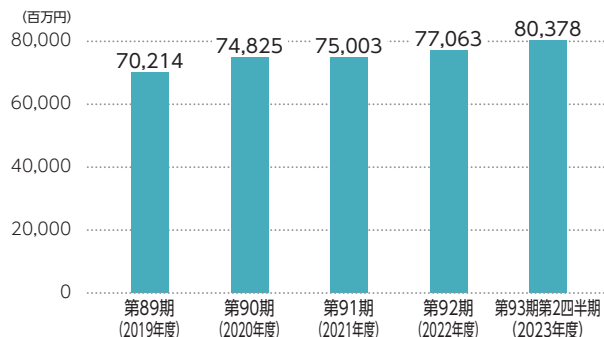
連結財務諸表

第2四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当第2四半期 2023年9月30日現在	前期 2023年3月31日現在
■ 資産の部		
流動資産	35,672	34,559
現金及び預金	9,114	7,136
受取手形、売掛金及び契約資産	11,725	13,835
電子記録債権	3,421	2,851
商品及び製品	7,534	6,662
仕掛品	719	616
原材料及び貯蔵品	2,001	1,851
未成工事支出金	279	548
その他	881	1,080
貸倒引当金	△ 4	△ 24
固定資産	44,706	42,503
有形固定資産	26,278	26,452
土地	17,237	17,237
その他（純額）	9,041	9,215
無形固定資産	841	596
投資その他の資産	17,586	15,454
投資有価証券	14,439	12,235
その他	3,289	3,356
貸倒引当金	△ 141	△ 136
資産合計	80,378	77,063

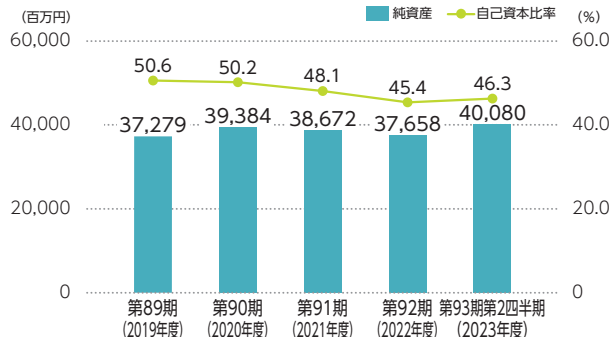
■ 総資産



(単位：百万円)

科目	当第2四半期 2023年9月30日現在	前期 2023年3月31日現在
■ 負債の部		
流動負債	26,616	25,466
支払手形及び買掛金	5,607	5,345
電子記録債務	10,167	10,094
短期借入金	4,293	4,049
1年内返済予定の長期借入金	1,997	2,121
未払法人税等	669	308
引当金	623	605
その他	3,258	2,941
固定負債	13,681	13,938
社債	120	140
長期借入金	5,807	6,697
退職給付に係る負債	1,267	1,242
その他	6,486	5,858
負債合計	40,298	39,404
■ 純資産の部		
株主資本	27,261	26,451
資本金	5,111	5,111
資本剰余金	3,858	3,857
利益剰余金	19,301	18,493
自己株式	△ 1,009	△ 1,010
その他の包括利益累計額	9,992	8,498
その他有価証券評価差額金	4,921	3,452
土地再評価差額金	5,312	5,312
為替換算調整勘定	△ 142	△ 178
退職給付に係る調整累計額	△ 99	△ 88
非支配株主持分	2,825	2,709
純資産合計	40,080	37,658
負債純資産合計	80,378	77,063

■ 純資産／自己資本比率



第2四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

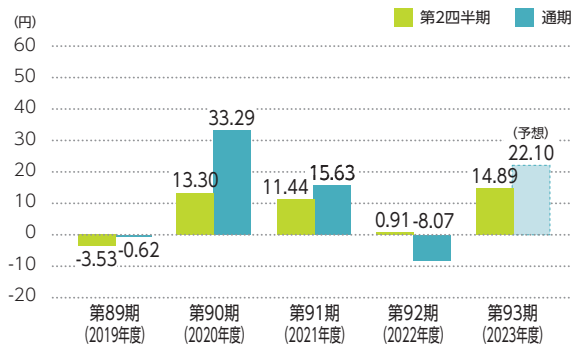
科 目	当第2四半期	前第2四半期
	2023年4月1日から 2023年9月30日まで	2022年4月1日から 2022年9月30日まで
売上高	26,433	24,608
売上原価	21,765	21,283
売上総利益	4,667	3,324
販売費及び一般管理費	3,394	3,283
営業利益	1,273	40
営業外収益	383	409
受取利息	4	2
受取配当金	180	167
持分法による投資利益	120	76
その他	78	163
営業外費用	127	86
支払利息	33	30
クレーム損害金	13	—
工場休止費用	26	7
その他	52	48
経常利益	1,529	363
特別利益	95	16
固定資産売却益	1	16
投資有価証券売却益	93	—
特別損失	36	24
システム障害対応費用	28	—
固定資産除却損	8	24
税金等調整前四半期純利益	1,588	356
法人税、住民税及び事業税	652	208
法人税等調整額	15	34
法人税等合計	667	242
四半期純利益	921	113
非支配株主に帰属する四半期純利益	112	63
親会社株主に帰属する四半期純利益	808	49

第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

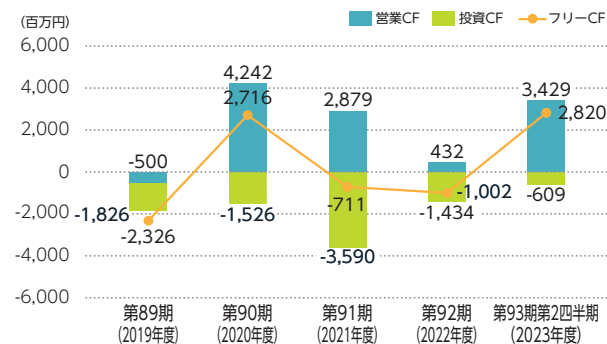
(単位：百万円)

科 目	当第2四半期	前第2四半期
	2023年4月1日から 2023年9月30日まで	2022年4月1日から 2022年9月30日まで
税金等調整前四半期純利益	1,588	356
減価償却費	882	918
持分法による投資損益(△は益)	△ 120	△ 76
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	1,539	△ 1,506
棚卸資産の増減額(△は増加)	△ 854	△ 836
仕入債務の増減額(△は減少)	334	1,002
その他	58	30
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,429	△ 110
有形固定資産の取得による支出	△ 589	△ 662
その他	△ 19	△ 31
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 609	△ 693
借入金・社債の増減額(△は減少)	△ 791	△ 346
配当金の支払額	—	△ 249
その他	△ 58	△ 305
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 849	△ 901
現金及び現金同等物に係る換算差額	7	△ 1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,978	△ 1,707
現金及び現金同等物の期首残高	7,136	8,599
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,114	6,892

1株当たり四半期(当期)純利益又は純損失



フリーキャッシュ・フロー



統合報告書2023

この度当社グループでは、様々なステークホルダーの皆さまが注目する、環境、人的資本や知的財産への取り組みなどの理解促進を目的として、当社として初めて「統合報告書2023」を2023年7月31日に公表いたしました。従来の財務情報に加え、これらの“非財務情報”をこれからも積極的・継続的に発信し、当社グループの理念や考え方、事業活動への理解をより深めていただけるよう努めてまいります。

『統合報告書による非財務情報の主なポイント』

Environment	気候変動対応	当社グループにおける直近のCO ₂ 排出量（Scope1・2）を公表しました。2019年度のCO ₂ 排出量を基準に2028年度に40%、2038年度に80%、当社創業100周年である2048年度に100%（ネットゼロ）の削減目標を掲げ、脱炭素に向けた取り組みを推進しております。
	環境製品の開発・販売	コンクリートスラッジの再資源化技術（MCC&U [®] 技術）により、PAdeCS [®] は環境浄化材として、エコタンカル [®] は軽質炭酸カルシウムとして利活用ができます。エコタンカルを原料として活用した「グリーンONAパイル」を開発し販売を開発したほか、共同研究等による更なる研究開発を進めてまいります。
Social	人的資本の基本方針について	「新たな価値を創造する組織形成と人づくり」「社会からの信頼の確立」をマテリアリティとして設定したサステナビリティ基本方針に基づき、「人材育成方針」「社内環境整備方針」「人権方針」を策定し、人的資本に係る取り組みを推進してまいります。
	DXへの取り組み	2021年中期経営計画において、中長期の方向性として経営体質の強化を重要課題と位置づけ、施工管理のICT化やQRコードによる製品管理等、自動化・省力化・効率化によるDXの取り組みを通じた事業変革を推進し、持続的成長を目指しております。
	知的財産	知的財産は重要な経営資本であるとの認識のもと、戦略的な知財管理を推進しております。業界では先駆的に環境技術に取り組んでおり、近年ではCO ₂ 固定化技術をはじめ、数多くの特許を取得しております。



※詳しくは、当社ホームページ「統合報告書2023」をご覧ください。

グループ



日本コンクリート工業グループ

生産拠点

- | | | |
|---|-------------------------------------|----------|
| ① | NC東日本コンクリート工業株式会社 | 川島工場 |
| ② | NC中日本コンクリート工業株式会社 | 鈴鹿工場 |
| ③ | NC関東パイル製造株式会社 | 古河工場 |
| ④ | NC西日本パイル製造株式会社 | 高砂工場 |
| ⑤ | 〃 | 滋賀工場 |
| ⑥ | NC九州株式会社 | 九州工場 |
| ⑦ | NC貝原パイル製造株式会社 | 和気工場 |
| ⑧ | 〃 | 笠岡工場 |
| ⑨ | NC四国コンクリート工業株式会社 | 小松工場 |
| ⑩ | NC中部パイル製造株式会社 | 四日市工場 |
| ⑪ | NCセグメント株式会社 | 板倉工場 |
| ⑫ | 〃 | 女方工場 |
| ⑬ | 〃 | 三重鈴鹿工場 |
| ⑭ | NC日混工業株式会社 | 結城工場 |
| ⑮ | 〃 | 鈴鹿工場 |
| ⑯ | 〃 | 古河工場 |
| ⑰ | NC鋼材株式会社 | 茨城工場 |
| ⑱ | NCプレコン株式会社 | 岡山工場 |
| ⑲ | NIPPON CONCRETE (Myanmar) Co., Ltd. | モーラヤイン工場 |
| ⑳ | 北海道コンクリート工業株式会社 | 登別工場 |
| ㉑ | 東北ポール株式会社 | 白河工場 |
| ㉒ | 〃 | 北上工場 |

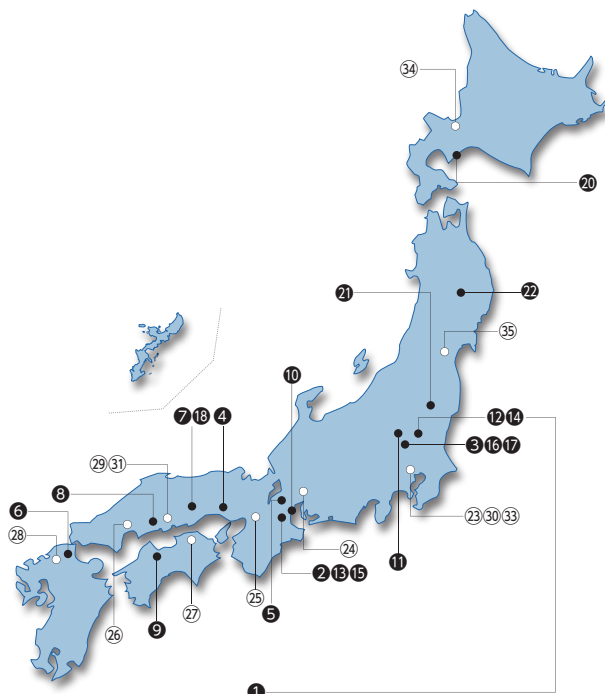
営業拠点

- | | | |
|---|-------------------------------------|-------|
| ㉓ | 日本コンクリート工業株式会社 | 本社 |
| ㉔ | 〃 | 名古屋支店 |
| ㉕ | 〃 | 大阪支店 |
| ㉖ | 〃 | 広島支店 |
| ㉗ | 〃 | 四国支店 |
| ㉘ | 〃 | 九州支店 |
| ㉙ | NC貝原コンクリート株式会社 | 本社 |
| ㉚ | NC工基株式会社 | 本社 |
| ㉛ | NCプレコン株式会社 | 本社 |
| ㉜ | NIPPON CONCRETE (Myanmar) Co., Ltd. | 本社 |
| ㉝ | フリー工業株式会社 | 本社 |
| ㉞ | 北海道コンクリート工業株式会社 | 本社 |
| ㉟ | 東北ポール株式会社 | 本社 |

その他

- | | |
|------------------|----------|
| NCロジスティックス株式会社 | (茨城県筑西市) |
| NCマネジメントサービス株式会社 | (東京都港区) |
| NCユニオン興産株式会社 | (茨城県筑西市) |
| NCリビングサービス株式会社 | (東京都港区) |
| 日本エコテクノロジーズ株式会社 | (東京都港区) |

※日本国内の主な生産・営業拠点のみ地図上に記しております。
 ※上記のほか、当社のポール・パイル等の技術供与先13社と共同体制（NCグループ）を構築しております。



川島工場（川島製作所）



川島工場（女方製作所）

会社情報／株式情報 (2023年9月30日現在)

■ 会社概要

商号	日本コンクリート工業株式会社 (NIPPON CONCRETE INDUSTRIES CO., LTD.)
設立	1948年(昭和23年)8月5日
資本金	5,111,583千円
従業員数	1,416名(単独353名)

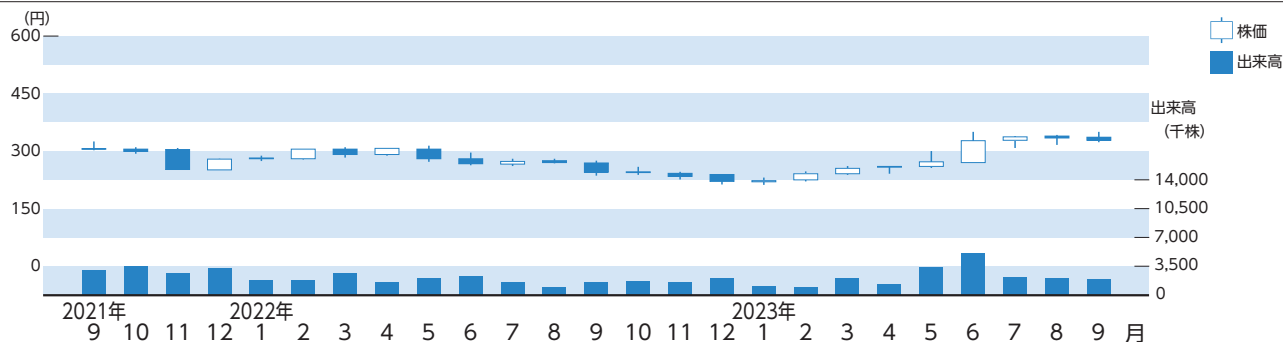
■ 主な営業所

本社	東京都港区芝浦四丁目6番14号 (NC芝浦ビル)
名古屋支店	名古屋市中村区
大阪支店	大阪市西区
広島支店	広島市中区
四国支店	香川県高松市
九州支店	福岡市博多区

■ 役員

代表取締役社長	塚本博	取締役(社外)	松本武徳	執行役員	斉藤彰宏
取締役常務執行役員	今井康友	常任監査役	井上敏克	執行役員	伊藤宏浩
取締役執行役員	小寺満	監査役(社外)	安藤まこと	執行役員	小林大介
取締役執行役員	梶田宜彦	監査役(社外)	西村俊英	執行役員	薄葉信一
取締役執行役員	角柄明彦	執行役員	増田知行	執行役員	飯島剛裕
取締役(社外)	間塚道義	執行役員	吉成壽男	執行役員	高堂満
取締役(社外)	石寄信憲	執行役員	大野豊		

■ 株価／出来高の推移



ホームページご案内

当社のホームページでは、製品情報から最新のIR情報まで各種情報を掲載しております。是非ご利用ください。

[日本コンクリート工業](https://www.ncic.co.jp/)



<https://www.ncic.co.jp/>

■ 株式の状況

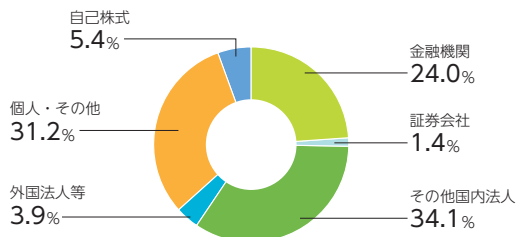
発行可能株式総数	180,000,000株
発行済株式の総数	57,777,432株
株主数	8,133名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本製鉄株式会社	6,940	12.69
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,397	9.87
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 太平洋セメント口 再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行	3,634	6.64
日コン取引先持株会	3,005	5.49
日本電設工業株式会社	2,008	3.67
太平洋セメント株式会社	1,500	2.74
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,239	2.26
株式会社みずほ銀行	1,000	1.82
株式会社三菱UFJ銀行	930	1.70
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	921	1.68

- (注) 1. 持株比率は、発行済株式の総数から自己株式3,118,938株を控除して計算、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。
2. 役員報酬BIP信託(134,359株)および株式付与ESOP信託(106,597株)が保有する当社株式は、上記自己株式には含めておりません。
3. 株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループより2021年7月6日付で提出された変更報告書の訂正報告書により、当該訂正後の2020年3月9日時点の報告(2023年3月31日以前の直近の報告)によれば、株式会社三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行株式会社、三菱UFJ国際投信株式会社および三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社との4社合計で当社株式3,627千株(提出時点における持株比率6.63%(自己株式を除く))を保有している旨が記載されておりますが、当社としては当期末における実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。

株式所有者別分布状況



■ 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会の基準日	毎年3月31日
剰余金配当の基準日	毎年3月31日 (中間配当を行う場合は9月30日)
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
特別口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
各種お問い合わせ先	〒168-0063
郵便物送付先	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
公告方法	電子公告 公告掲載URL (https://www.ncic.co.jp/) ただし、やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載いたします。
単元株式数	100株

お知らせ

■住所変更、単元未満株式の買取・買増および書面交付請求等のお申出先について

株主さまの口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主さまは、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

特別口座に関する振替請求、単元未満株式の買取請求・買増請求、配当金の受領方法の指定、住所等の変更および書面交付請求の各お手続きについては、上記三井住友信託銀行株式会社のフリーダイヤル(受付時間 平日9:00~17:00)で受け付けております。

■未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



日本コンクリート工業株式会社

〒108-8560 東京都港区芝浦四丁目6番14号 (NC芝浦ビル)
TEL (03)3452-1021 <https://www.ncic.co.jp/>



見やすく読みまちがえ
にくいユニバーサルデ
ザインフォントを採用
しています。